

子育て環境の充実に関する特別委員会 議事次第

〔 令和 7 年 12 月 15 日（月）
午 後 1 時 30 分 ~
於 : 第 2 委 員 会 室 〕

1 開 会

2 所管事項の調査

「子ども・若者への食育の推進について」

参考人：京都府立大学大学院生命環境科学研究科

准教授 吉本 優子 氏

3 閉会中の継続審査及び調査

4 今後の委員会運営

5 そ の 他

6 閉 会

子育て環境の充実に関する特別委員会 出席要求理事者名簿
(令和7年12月府議会定例会)

【総合政策環境部】	
総合政策室企画参事	三 嶋 孝 佳

【文化生活部】	
文教課長	衣 川 貴 雄

【健康福祉部】	
健康福祉部副部長(子育て・福祉担当) (こども・子育て総合支援室長兼務)	大 島 史 也
こども・子育て総合支援室企画参事	西 田 一 慶
こども・子育て総合支援室参事	藤 原 茂 樹
健康対策課参事	三 輪 有 弘

【農林水産部】	
農政課参事	八 谷 純 一

【教育委員会】	
学校教育課長	三 矢 哲 郎
保健体育課長	井 上 哲

(計 9 名)

令和7年12月15日

京都府における食育の推進について

農林水産部農政課

現行の京都府食育推進計画

京都府では、平成19年度から計画を策定。

現行計画：第4次食育推進計画（令和3年度～令和7年度）

令和2年は国が緊急事態宣言を3回にわたり行うなど
新型コロナウイルス感染症対応下での策定作業

●現行計画策定時の課題（令和3年時点）

- ・健康寿命の延伸や生活習慣病予防の観点から食育の取組が必要
- ・朝食を毎日食べる子どもや若い世代の割合の向上が必要
- ・主食・主菜・副菜を組み合わせた食事など食生活の改善が必要
- ・新型コロナウイルス感染症対策下での新しい生活様式等に対応した食育の推進が必要

現行計画の基本方針と施策の展開

○基本方針

食への正しい知識を持ち、朝食摂取や主食・主菜・副菜の組み合わせなど、主体的な行動に繋げることができるよう、家庭、学校、地域など多様な関係者と連携し、府民運動として推進します。

より効果的に食育を推進するため、京都ならではの食材、食文化を通した食への関心が高まる取組やICTの効果的な活用など新たな日常に対応した取組を推進します。

○施策の展開

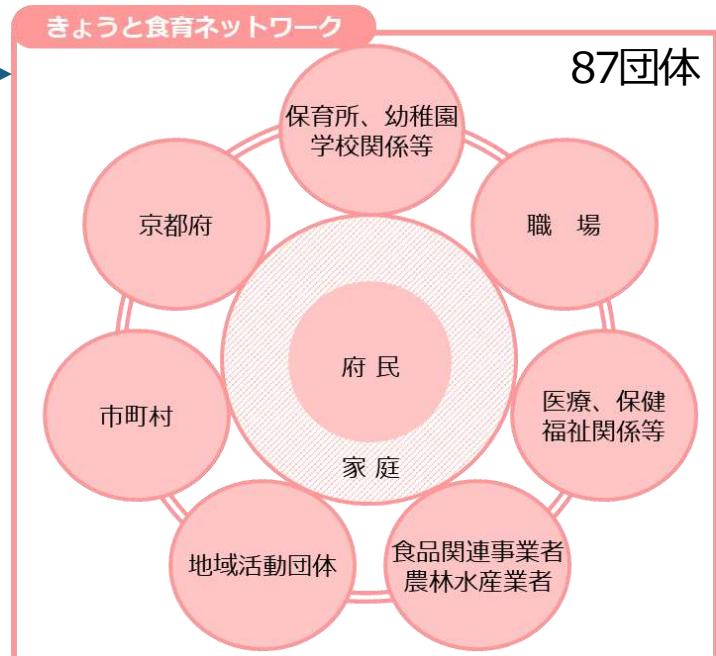
ネットワークを構築して
施策を推進

1 多様な主体による食育の推進

- (1) 家庭における食育の推進
- (2) 学校、保育所、幼稚園等における食育の推進
- (3) 地域における食育の推進

2 食育の効果的な推進のための取組

- (1) 食育への関心の向上
- (2) 新しい生活様式・新たな日常への対応



きょうと食いく先生等派遣事業

子ども達が食の大切さや食を支える農林水産業の重要性を学ぶ機会を増やすため、農作物の栽培や加工・調理等の体験指導ができる専門家を「きょうと食いく先生」として認定し、府内の学校や保育所、地域の団体等で行う体験型食育を支援

■ 取組内容

- ・農林水産体験：種まきから収穫体験までの農作物栽培体験
- ・食品加工体験：豆腐・和菓子・漬物・味噌作り体験
- ・調理体験：だしのとり方、郷土料理・京野菜等の調理

■ 登録者

- ・平成24年から認定開始
- ・認定者数 314名(R7.11末時点)

■ 授業数

- ・580授業 (令和6年度)

■ 学校との連携

- ・きょうと食いく先生と
学校等の食育担当者との交流会を開催



きょうとの食育サポート企業と連携した食育啓発

朝食摂取促進や野菜摂取量向上を目指して、企業と連携し、「ポスターやレシピブック」を作成、イベント等で啓発

朝食摂取促進ポスター



主食、主菜、副菜をそろえて、美味しいく楽しくバランスの取れた食事を心がけ、心もからだも元気にすごしましょう。

清流——中国制茶(组)

連繩：未添劇道（桂）

書名：人氣素菜（株）

卷之三十一、方略集（附）

連携：大塚製薬（株）

旬の野菜を食べよう！レシピブック

連携：味の素(株)・イオンリテール(株)・
(株)ダイエー・(株)光洋、京都市

動画を活用した食育啓発



「“できる”から始まる楽しい食育」

「若い世代」や「子育て世代」に向けて、家庭で楽しく食育に取り組む具体的な提案として、「レシピ動画」を制作、「トークショー」を開催

■レシピ動画

家庭料理研究家の奥園壽子さんが、京野菜「九条ねぎ」と「万願寺とうがらし」を使ったシンプルで美味しいレシピを、生産者の声とともにご紹介

■食育トークショー

令和7年8月2日（土）

京都リサーチパークで開催

料理研究家、農業者、学識者を交え、

京都の食材の魅力や家庭料理のコツをお届け



「食のみらい宣言・実践活動コンクール」の実施

■目的

府民の皆様の食に関する目標と取組を共有し、食育の輪を広げる

■募集内容

①食のみらい宣言（自分自身の食に関する目標を記載）

②目標達成に向けた実践

（①の目標達成に向けて実践した活動の内容・結果、感想等を記載）

③活動の様子が分かる写真・イラスト

■応募方法

Instagramで応募、メール、郵送

■応募総数：329件

H28からの累計2,713件

シールアンケート形式での宣言者を含めるとR3～R6で約13,000人が宣言



R6年度 最優秀賞

食物アレルギーのある人が、食べられないものを食べられるようにするために、楽しんで食べてもらえる料理を作る！

食育推進計画の進捗状況

施策体系	項目	基準	実績	目標値	達成率	達成状況	
		R1年度	R6年度	R7年度	R6年度		
多様な主体による食育の推進	家庭における食育の推進	1 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べる府民の割合 (%)	69.1	56.4	80	▲117%	▼
		2 朝食を毎日食べる府内小学生の割合 (6年生) (%)	85.3	83.3	95	▲21%	▼
		3 朝食を毎日食べる府内中学生の割合 (3年生) (%)	79.7	78.1	90	▲16%	
	学校における食育の推進	4 きょうと食いく先生の授業数(授業/年)	373	580	554	115%	◎
		5 学校給食における地場産物を使用する割合 (金額ベース) (%)	20.6	17.4	30	▲34%	▼
	食育における地域推進に注力	6 きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店数 (店舗)	788	808	800	167%	◎
食育のための効果的な取組	関心食育への向上	7 京の食文化の語り部のオンライン講座受講者数(人/年)	0	309	300	103%	◎
		8 和食文化人材の育成人数(人/年) 京都府立大学文学部和食文化科学科 在籍者数	36	135	120	118%	◎
	な様新日式し常・いへ新生のた活	9 ICTを活用した情報発信数(回/年)	30	335	300	113%	◎
		10 ICTを活用して食育宣言を行う府民の数(人)	0	12,980	10,000	130%	◎

- 体験型授業の実施数増加や、ICTを活用した積極的な情報発信で、食育の裾野を拡大
- 一方で、朝食摂取やバランスの良い食事の摂取は、特に20・30代の若い世代で低下しており、改善が必要
- 食料の安定供給のリスクが高まる中、農林水産業の担い手確保や、合理的な価格形成の重要性について理解を深める食育が必要

➡ 大人の食育、持続可能な農林水産業・食品産業を支える食育の強化を新たな観点に加え
様々な大学・企業等との連携を強化する次期食育推進計画を検討、常任委員会で中間案を報告

(案)

令和7年 月 日

京都府議会議長 荒 卷 隆 三 殿

子育て環境の充実に関する特別委員長 青 木 義 照

閉会中の継続審査及び調査要求書

本委員会に付されている事件は、下記の理由により、引き続き審査及び調査を要するものと認めるから、京都府議会会議規則第75条の規定により申し出ます。

記

1 件 名

出会い、結婚、妊娠、出産、保育・教育及び就労に至るまでの子育て環境の充実のための施策（貧困対策、ひとり親家庭対策、ひきこもり対策、児童虐待対策及びいじめ対策を含む。）について

2 理 由

審査及び調査が結了しないため